



特別
73
6729





門 73
號 6729
卷

管内士族平民心得書

額田縣



今般厚く衆庶保護

の御趣意を以て

郡村長始其心控

乃其負を度り交り

區長戸名をなす、四民
字養、村里を嚴
肅、小乃致、此は是、今く回
海一家五族兄弟、折

柄同國、同函、小居
人、彼杖の思を私
親、疏遠、近の隅を立
且、從前、諸事、多岐

涉シりリ自ジ然ゼン之シ反ヘシ之シ多ク

多ク郡クニ村ムラ乃ハ匠テ費ツ身ミ也ナリ又マタ

彩サヤ之シをシ厭イひテ冗クワ費ツ

知チ度ド之シをシ費ツ身ミをシ省セ紀キ

諸シヨ事ジ成ア併ヘセテ之シをシ簡カン小コ

就ツク之シをシ免メ取ツ有リ神カミ明アカ也ナリ

教ケイ人ニ論リ之シをシ心ココロ誠マコト

同ドウ力リキとシ一イツ之シ業ノ業ノ

一 廟ハケミ之生セイを祈サカレし共トも永ト
く保ホ護ゴの庇シ陰イを蒙モウ
り洪コウ恩オンを謝ユす下ゲ
心ニ裁シ事ス

一 御高札乃表ヲを守ヲり
欠ヒれ元常ノ人ト相シい
博奕賭ノ諸勝負等
望ミく傳ツ止ス事ニ

一 五人組ハ家並家身あり
 随シマクハ借知タマ店借タマのともふ
 至キる由キと転ケンちを組合
 一 位イとカ同伍イお恨ケテラ和

一 善イコシを勸免イコシ悪ク心ク成
 戒免イコシ人イコシ苦ク樂クれと共イコシり
 生業イコシ乃安イコシ穩イコシ以イコシ謀イコシ
 事イコシ

一 貫^{クワン}属^{ブク}士族^{シク}の武^ブつれ流^{リウ}
榮^{エイ}を廢^{エイ}し末^{マツク}を仰^{ウヤウ}
食^{シキ}の餘^{ヨウ}習^{シウ}は去^サり徒^ト
食^{シキ}を天地^{テンチ}不愧^{クワイ}づきの

理^リは考^{コウ}へ学^{ガク}業^{ゲク}を研^{ケン}
究^{キウ}しそ智^チ識^{シキ}を究^{キウ}む
農^{ノウ}高^{カウ}乃^ノ業^{ゲク}を純^{ジュン}に
一家^{イツカ}保^ホ全^{ゼン}の計^{ケイ}を立^{タテ}

一 奮コウてんげんを振コウりて試事

一 漸ゼンく士族も農商ノリ

帰キせしめられハカム工商コウ此

もの互タガヒ不耕耨コウ乃事

器械キカクの運用販鬻バンヨク

利を謀カりお助タて生業

小銃コウは民同權ドク

自由シユウを府名保ホ有ユウの

權をマモリ護り共小生は
營ミ業を成ハ励ハギめて富
國コクの基礎キを起ヲる事

一 田畑山野は地味を考
へ四木三草クサを始ハジめ其
地土は適宜タチギ乃名木ナキ
極ツクへ塩田を冠カり牛

羊ヒツをベイ牧ヒし日月ニツギ

國益イキを益サカンす盛シメるニツギ

為シよ事ニツギ

一 壯ツウ若ジヤク乃ニツギ乃ニツギ少シウ子シ家業カゴウのノ眼イタマ

阿ア比ヒ郷校ケイへ出セキ席シキ

読書ドクショ算筆サンヒツをヲ学マナびビ

或シ同志社トウジを結ムスビすス

新聞シンブンを購コウ求モトめト

天下の世態を仔細か

とく事

一 富貴家有志乃事

力を招く学校を設

子弟を教諭し或

餘粟を社倉に貯

凶年救助の用を供

事

一 富貴家の令族に

一 徒黨強訴の企罪因 トドムウ キヨソ クハグテ ガイ シウ

潜匿ホ見守り及ひ候 セン タクク

リテ了訴出事 ウツター

一 新規尔堂官建立 シンキ キヤド キユ コン リウ

停止の事 テイシ

附神祭佛事慎候

外櫻了致 ミダク

変事

一村中ハ勿論近傍村々

失火の節豫メ各村々

配付之免々を子速速馳

付消防々々事

附消防器器械正名

中役宜の地小供へ

函分乃戸長出張

消防方差配々々

一 鰥寡孤獨 瘡疾 未得

クハニクハコドリハイシヤクヨ

れきこしものハ村中へ令

交^{サラ}りぬ乃道とま

所持の田畑ハ荒穢より

致事

一 火災盜種 病氣等

生業と失ふ者

日伍親類ハ勿

論村中^{千ヨ}悞議^ギ——

産^{サン}不^フ就^{ジュ}——^{オコリ}む^ムへ^ヘき^キ事^シ

一^イ衣^イ食^シ住^{ジュ}都^ド——^{スベ}奢^{シャ}者^{シャ}返^{ヘン}

省^ハ——^ブへ^ヘき^キ事^シ

但^ダ肉食^{ニクシキ}——^{スモヤカ}才^{サイ}體^{タイ}

を^ヲ健^{ケン}——^{レニ}煉^{レン}化^カ石^{シツ}を^ヲ

免^メ——^{リル}火^カ災^{サイ}を^ヲ防^ブく^クホ

自^ジ——^{ゼン}返^{ヘン}く^ク御^ミ々^々盛^{セイ}

新々々々々

一 従前各村の仕来定格
矣同有之 漸く繁習
と去りて 匠中お協和

諸事一徹シツお成候
様銘メの致チ送ウ之ノ事
但村中若公者お
稱し組合お立候事

取扱スのハ水ハ漸クおハ廢ス

一 且ニ村中家筋ヲ論ス

一 吾ノ凶ノキコキコのキ守リもト上下

羽織袴ハふカ着カ用カ為ス

及キかドのハ弊ヲ習フ

一 然レふハあリ本ノ

事ト

一 棄テ兒ト隨テ胎ノ人ト入ル

一 賣買堅く停止

し事

一 婚嫁ハ戸長へ届事

後ハ左隣身を頼

一 取致事

一 脱籍乃もものあり

子速人おとせ別

へ戸長へ届事

出親カク親カク同伍同
村カクのカク精セウ探タン
寮カクのカク六カク
月カクのカク届カク多カク

出スギ二十タツ六ツ月ニとネ同伍同
得エム不ム平ゲンのノ事
一一脱脱籍籍ののもののの地地所所居居をを後後
空空地地ととああれればば親親同伍同伍

耕耨コウソク 自貢ジク

諸費お拂 殊金を戸

長へ程もを二千六百と

過居所におお知或当人

死去シヨ 村中評議ヒヨ の上キ

血統ケツ の老法ロウホウ 擇イラレ こころ家

を継ツガ 了む事

一 伊豆クハシ 轉クハツ 出稼カヤギ 或はキ 季

孝公小出政節ハ戸長ハ
届出シラケン證券シラケン持系可
致他國ハ勿論同家内ハ
男女オモト公ハ雇族トモ也

一 村戸長諸人の諾状ハ
取立事

一 櫻ニクサ池村ハクを碁廻クハク一或
用津ツ知チ一々其所ハ

そらと来るといふのあはれ

一 同伍中より具事

を紀タビと入事

一 生死之節戸長へ届出

一 出産之節八百日目

氏神へ系サシ諸ケイ為致事

一 事

但追々本長多程シラ

瘧トシラの多敷り事

一 田畑賣買の節ハ御布告カシより通願出指圖ギ紙符コトにて取計事

一 関カク及起ハツ迄キ新田ヒシ本少

しも隔カク一キ至ヒり成キと

山林キリ櫻キり代木キ取キと

事

一 田畑灌漑クワンの用ガイの器
為シタガの渴カツの節エイ争論リ
母と拵ウツツの事
一 堀ウツツを埋溝ミンゾウ筋スヂ筋イ筋ツを

一 堤川除井堰カ溜池テイ防築ボク
立キ必キの事キ出キ事キ
一 堤川除井堰溜池道
筋キ筋キ深キ普キ情キ常キ

注之——農隙ノ年
恒繕之政事

一堤防添之村ノ少ク持場
を望むを洪水ノ節

戸長を始メ小吏一同
出張——共ニ力ヲ盡シ
他毛ノ海括之政事
一御布告涉者道向順達

一 舟の爲延滞一割一
造意心しく延緩水く
船の中日事

但古用状村純興状

昼夜をくふ此先々へ
お届子形乃取務云
中事

一 海道、勿論其他村立

脇枝多末旅篋電屋本館
嘉永旅人の出所姓名お
改帳面この様を奉

但ふ審看よとの今有

ろく戸名迄らの中

一押賣押買も勿論其
也締買成り合も高
償ふなり或ハ出所ふ合

以諸人... 取... 事

附養蚕即紙造酒
好油油出... 規則

守... 且御免... 藥及毒... 買... 事

一病氣醉... 迷... 兒... 有

多其所不...
様子お尋...
を若老村...
へこの届出事

附所持...
致指...
事

一 盜賊...
ホ 遊常...
事

松家持事供入を兼く

自記中合を互に可お扱

事

但盗賊悪徒は搦捕

所居出事

一 深林堂言事は怪爰者

住居不致指は心所事

一 盗物拾物は御隠

垂るに早く可^レ由^レ密
事

但乃^レ函^レて名^レ前^レふ
好^レとの名^レ物^レ亦^レ買^レ取

事

一 喧^レ碗^レ口^レ論^レ有^レる子^レ速
一 會^レ石^レ結^レる事
一 横^レ死^レ人^レ傷^レれ^レるの溺^レ死^レ人

一棄兒未有三番人附
至子速速三番出事

但棄兒不早速物代
近所三番の三會指上

一皆首自解し至下
出事

一都の公事出入亦戸長
百姓惣代三會埒明也

中若若難おる論儀ハ之記
一 出の書一 何様ホ解
此のものハ徹夜名下
付事

一 田畑林場ホ常小經
界を以テ 年論ホ記
様ハ致事
一 身責不懐持弁目

一 奈減也米減出一米
精々今冬一都
村入有儀造一以味
柳一乃乃乃惣百姓家方

一 不致事年減戸長一
分賦取上侍一事
一 身負米金消拂一
自般五智一至重一

出入會の指の取事

但戸名と印鑑を

かへて下す

一馬車をよせ馬を飛ばし

乃函のとりかへ家小

被うせ問敷事

但電信機之妨害

致さす

一外國人通商之節
ふ都令之儀有六自
然御威信も縁も
尤心紙用之の中事

一勅奏判任御印付筈
提灯ホ中人受取ル事
下中禮中ノ振ハシ
事

一 戸長惣代非分の儀
掛ふ程くハ隣村戸長
或ハ匠長への新出若
士民も我程い

戸長の申付ふお用
詮議の上々庸罪科
事

一 官負ふもの權威を振

一 或、私曲之所有を
心隠の訴出事

但廻村ホ之節馳走
之間爰後ハ勿論御々

品より其音信得
為其心止之事

一 猪鹿威一及の権師
之の發炮其心止之事

右之通可相心濟事

壬申七月

額田縣

壬申七月

→
64685

二一〇

三
六
八

